

愛する故郷 小笠原

令和2年10月30日

No. 7

文責 校長 飯久保一男

10月の行事を中心に紹介します

コロナ禍での様々な制限のある中での学校行事ですが、運動会に引き続き、内容は縮小しても、気持ちは縮小していません。各学年、目標を定め、取り組む内容をしっかりとって活動しています。



1年生 校外学習 「愛宕山」



2年生 校外学習 「お店探検」



3年生 校外学習 「トヨタホーム」の見学



4年生 「福祉についての学習」



5年生 「林間学校」



6年生 「陸上記録会」



2年生 「オオムラサキセンター」 見学



児童会 「ペアであいさつ運動」



予告なしの「避難訓練」



小笠原チャレンジ 「長縄跳び」



楡形中陸上部による陸上の指導



5年生家庭科 ボランティア

以前にも書かせていただきましたが、様々な行事・活動・取り組みをできるだけ実施する方向で、検討を重ね、縮小したり、回数を分けたりしながら行ってきました。例年と比べてしまうと、物足りないものもあると思います。しかし、その行事や活動において何を目標にして、何に取り組むのかを明確にして、成果を上げてきています。

私たち教職員もそうなのですから、子ども・保護者・地域の皆様も例年と比べて、物足りなさを感じてしまいがちだと思いますが、新しい生活様式で行う行事や活動と考えて、今年度の形が一つの提案としていただければと思っています。学校のスリム化を図り、教職員の多忙化を解消することも積年の課題です。今年度できたことをもとに、目標を達成するために、何が付け加えられるか、どう発展させられるかを考える機会ととらえ、今後の行事や活動を考えていきたいと思っています。